小学校国語　第５学年

目的や意図に応じて事実と意見を区別して書くことができる。

3　中村さんの学級では、学校生活や地いきの課題について調べ、わかったことや考えたことを文章にまとめることにしました。中村さんは、「災害に備えるための工夫」について調べ、文章を書いています。次の**【中村さんの文章の一部】**を読んで、あとの問いに答えましょう。

【中村さんの文章の一部】

災害に備えるための工夫

１　はじめに

地しんや大雨のニュースを見て、わたしは「急に避難しなければならなくなったとき、落ち着いて行動できるだろうか。」と思った。災害への備えは大切だとわかっていたが、実際にどのように行動するのかを具体的に考えたことはあまりなかった。そこで、災害に備えるための工夫について調べることにした。

２　災害に備えるために必要なこと

「みんなで考える防災」という本には、「災害時には、ふだんと同じ生活や行動ができなくなることを想定し、必要な準備について考えておくことが大切である。」と書かれている。わたしは、避難場所や連らく方法について家族で話し合ったり、災害時の行動や必要な準備について考えたりしておくことも大切だと思った。

３　地いきや市の防災への取り組み

さらに調べると、地いきや市でも災害に備えるための取り組みが行われていることが分かった。**［ア］**市の防災資料には、「災害時に避難情報をすばやく伝えるため、さまざまな方法を活用している。」と書かれている。**［イ］**また、地いきで避難訓練を行い、実際の避難の仕方や避難経路を確認しているところもある。**［ウ］**わたしは、地いきや市が行っている防災への取り組みを知っておくことや、災害時にどのように避難すればよいのかを考えておくことも、自分の身を守るために大切なのだと考えた。

【中村さんの文章の続き】

４　学校でできそうな取り組み

自分たちでも、学校でできる防災の取り組みについて考えてみた。１点目として、地いき合同避難訓練をすれば、学校の人たちだけで避難するのではなく、地いきの人と一緒に実際の避難の流れを体験することができる。そのため、地いきの人と協力しながら避難することの大切さを実感でき、災害時にどのように避難すればよいのかを具体的に想定しやすくなると考えた。２点目として、

【メモ】

（例）地いき合同避難訓練

【内容】・地いきの人といっしょに避難する
　　・実際の避難経路を確認する
【よさ】・地いきの人と協力する意識を高めることができる
【そこから考えたこと】・災害時にどのように避難すればよいかを想定しやすくなる

手作り防災マップ

【内容】・地いきの危険な場所を自分の目で確かめる
　　・自分たちの視点で地いきの安全を見直す
【よさ】・地いきにどのような危険があるのかを具体的に知ることができる
【そこから考えたこと】・安全な（　　）について考えるきっかけになる

避難所体験

【内容】・ダンボールベッドやたき出しを体験する
　　・避難所での生活について知る
【よさ】・避難所での生活に必要な準備や協力の大切さに気付くことができる
【そこから考えたこと】・災害に備えて必要な（　　）について考えるきっかけになる

（３）　中村さんは、**【メモ】**をもとに、「学校でできそうな取り組み」について考えたことを**【中村さんの文章の続き】**に書こうとしています。１点目の取り組みは**【メモ】**の中の（例）をもとに書いています。あなたが中村さんなら、２点目の取組を［　　］に、どのように書きますか。以下の条件をよく読んで、書きましょう。

【条件】

○**【メモ】**の［　　］の中の【内容】【よさ】【そこから考えたこと】の３つすべてを使って書くこと。

○【そこから考えたこと】については、**【中村さんの文章の一部】**から取り上げた言葉や文を使って、空らんをおぎないながら書くこと。

○「２点目として、」に続けて書き始めること。

○１００字以上１３０字以内で書くこと。

【正答例１】

・　手作り防災マップを作れば、地いきのきけんな場所を自分の目で確かめることができる。また、自分たちの視点で地いきの安全を見直すことで、地いきにどのようなきけんがあるのかを具体的に知ることができ、安全なひなんけい路について考えるきっかけとなると考えた。　（１２３字）

【正答例２】

・　ひなん所体験をすれば、ダンボールベッドや炊き出しを体験したり、ひなん所での生活について知ったりすることができる。そのため、ひなん所での生活に必要な準備や協力の大切さに気付くことができ、災害に備えて必要な準備について考えるきっかけになると思った。　（１２２字）

小学校算数　第５学年

伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。

2　次の**図**のように、１辺が２ｃｍの正方形のあつ紙を、１だん、２だん、・・・とならべて階だんの形を作ります。作った階だんの形の、だんの数とまわりの長さを調べてみると、下の**表１**にまとめることができました。あとの（１）、（２）の問いに答えましょう。

図

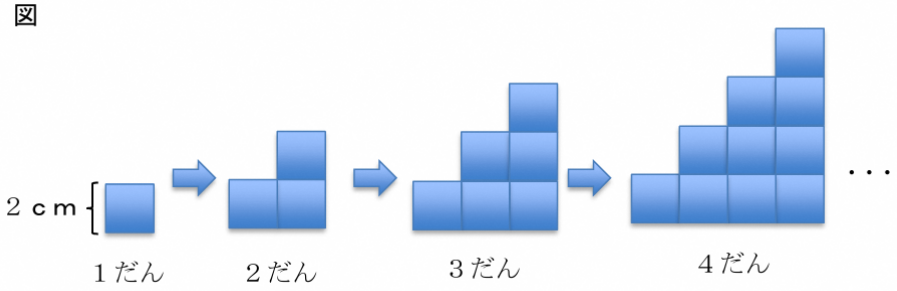


表１

だんの数　（だん）	1	2	3	4	・・・
まわりの長さ　（ｃｍ）	８	１６	２４	３２	・・・

（２）　かずしさんたちは、正方形のあつ紙の１辺の長さを３ｃｍに変えて、階だんの形を作り直すことにしました。


かずし

正方形の１辺の長さが３ｃｍになると、階だんが１だんの形のまわりの長さは、１２ｃｍになるよね。２だん、３だんのときはどうなるかな。次のように、**表２**に整理して考えてみよう。

表２

だんの数　（だん）	1	2	3	4	・・・
まわりの長さ　（ｃｍ）	１２				・・・


あゆみ

表に整理すると、（１）と同じように、□と○の関係を式に表すこともできるね。表や式を使って考えると、だんの数が変わってもまわりの長さをかんたんに求めることができるね。

ちなみに、だんの数が[ア]だんのときは、まわりの長さは、１２０ｃｍになるね。

[ア]にあてはまる数を書きましょう。

【正答】　１０

小学校国語　第６学年

目的に応じて、必要な情報を見付けることができる。

1　大野さんの学級では、自分の心に残った文章について考えたことをまとめることにしました。そこで、大野さんは図書室で「なやみをかかえたとき」という題名の本を選びました。次は、大野さんが読んだ**【本の一部】**です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【本の一部】

わたしが小学校５年生に進級したとき、クラスがえがありました。初めて同じクラスになる人ばかりで、とまどったことを思い出します。クラスの中には仲のよい友達同士でグループを作る人が増え、４年生のときと友達との関わり方が変化してきたのです。

４月のクラスがえからすぐ、新しい友達が２人できました。休み時間を過ごすとき、授業でグループ学習をするとき、いつもいっしょでした。学年始めの１、２か月は、３人いっしょに過ごすことがとても楽しみでした。

しかし、５年生になってから２か月が過ぎようとしたとき、気付いたら、わたしと２人との間に距離(きょり)ができていました。わたし以外の２人だけでいっしょにいることが増えていたのです。わたしは勇気を出して、どうしてそうなったのか２人に聞きました。すると、ささいなことがきっかけだったことが分かりました。思いちがいがあったことを確かめて、これからもいっしょに過ごしたい気持ちを伝えると、以前のように仲よくなりました。

また、**ア**学校の国語や算数の学習がどんどんむずかしくなりました。家で宿題をしても分からないことが多く、長い時間をかけるようになりました。一生けん命がんばって宿題をしているのに、「いつまでだらだらと宿題をするの。さっさと集中して終わらせて、ご飯を食べなさい。」と、親によく注意されました。わたしは一生けん命がんばっているのに、注意されることにもやもやしました。そんなときは、習い事のバスケットボールに夢中になりました。夢中でプレイしていると、いつのまにか気持ちがすっきりしていました。

その後、時間を区切って集中して取り組んだり、苦手なところを計画的に学習したりして少しずつ苦手をこくふくしていきました。

本を読むのが好きだったのも覚えています。５年生になって委員会の仕事がいそがしくなったり、勉強が難しくなったりしたとき、同じようなことでなやんでいる主人公が困難(こんなん)を乗りこえていく物語をよく読みました。そのすがたに感動し、勇気づけられていました。

３学期になると、周りの友達に身長を追いこされることが増えました。しかし、自分は４年生のときとあまり身長が変わらず、不安になったことを覚えています。保健委員だったわたしは、ある日、保健室の先生に相談しました。すると、保健室の先生も小学生のときに同じなやみをもっていたという話や、成長する時期は人によってちがうことを教えてくれて、気持ちが楽になりました。

思い返せば、様々ななやみをかかえた５年生でした。でも、**イ**直接相手に伝えたり、運動で気分転換(かん)したり、本を読んだり、相談したりと、なやみに対処(しょ)する方法を身につけた１年間でもありました。その経験が中学、高校と進学するときに生かされたように思います。

（２）大野さんは、**【本の一部】**を読んで、筆者の考えを理解するために、同じ文章を読んだ松本さんと話し合うことにしました。次の**【話し合いの様子の一部】**の［　　］に入る内容として最も適切（てきせつ）なものを、次の中から１つ選びましょう。

【話し合いの様子の一部】

大野さん	「なやみをかかえたとき」という題名が気になって読んだの。（＿＿＿部**イ**を示しながら）ここの部分を読んで、思い出したことがあるんだ。
松本さん	どんなことを思い出したの。
大野さん	自分にも当てはまる経験があったなって。例えば、［　　］ということがあったんだ。
松本さん	そうか。題名も「なやみをかかえたとき」だから、この文章を読んで、自分にも当てはまることがあるかなと考えることはとてもいいね。
大野さん	うん。文章と自分の経験が結び付くよさを感じることができたよ。松本さんも、同じようなことを考えたの。
松本さん	私は少しちがうことを考えたの。「直接相手に伝える」と書いていたけれど、伝え方や伝えるタイミングもよく考えないといけないよね。どう思う。
	～（話し合いが続く）～

- おこづかいがへってがっかりしていたら、おばあちゃんが家に来て、おこづかいをくれた
- 水泳を習い始めて３年たった今でも２５ｍが泳げないが、習い始めてからずっと水泳は大好きなままだ
- もし、学校でなやんだことがあれば、先生や友達に相談するつもりだ
- 下級生のお世話がうまくいかずに困（こま）っていたことを親友に話したら、心が軽くなった

【正答】

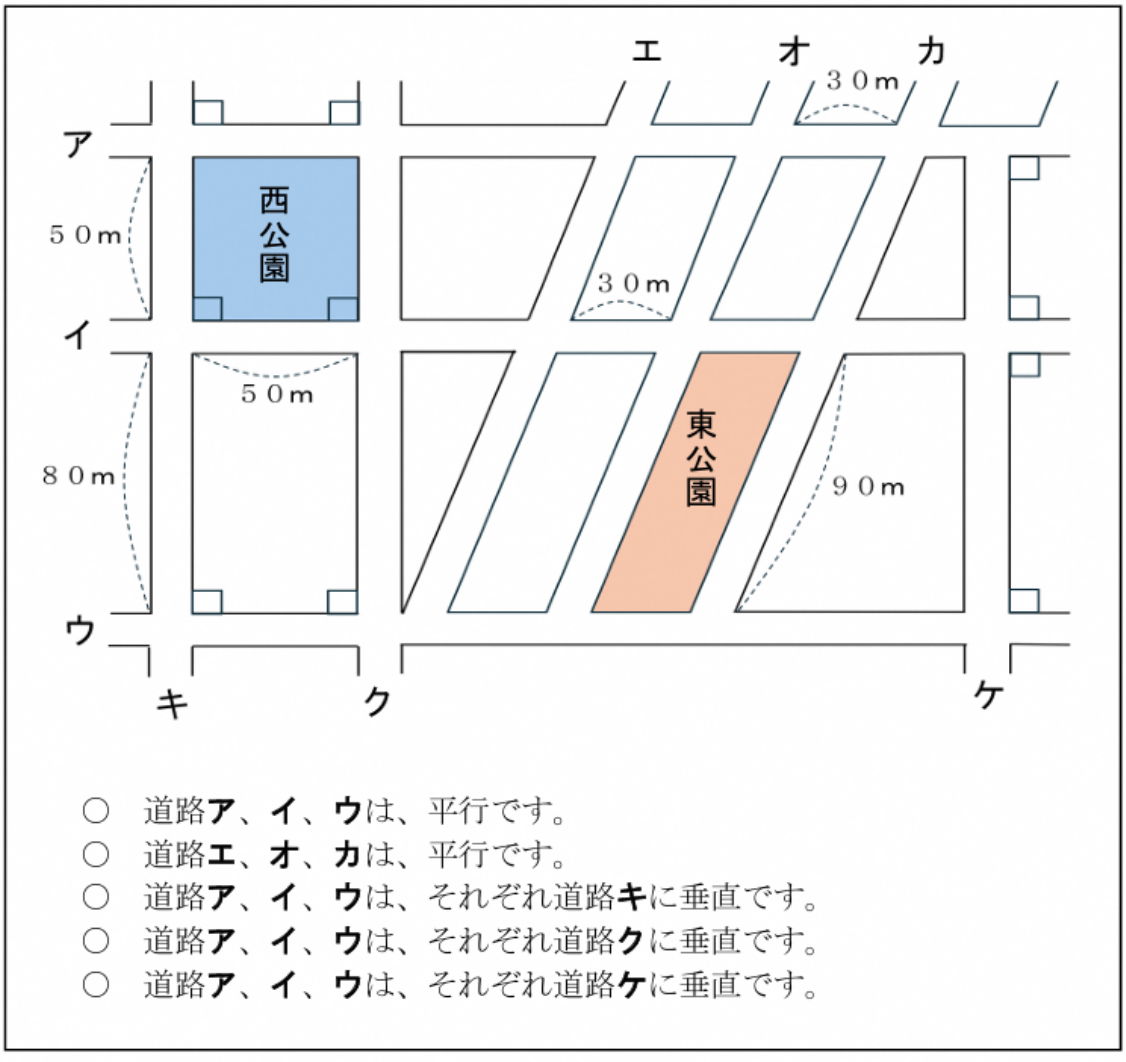
- 下級生のお世話がうまくいかずに困っていたことを親友に話したら、心が軽くなった

小学校算数　第６学年

地図を観察して図形を見いだし、面積を比較して説明することができる。

5　次の**図**の東公園の面積と、西公園の面積では、どちらの方が広いですか。答えを書きましょう。また、そのわけを、言葉や式などを使って書きましょう。

図



○　道路**ア**、**イ**、**ウ**は、平行です。
○　道路**エ**、**オ**、**カ**は、平行です。
○　道路**ア**、**イ**、**ウ**は、それぞれ道路**キ**に垂直です。
○　道路**ア**、**イ**、**ウ**は、それぞれ道路**ク**に垂直です。
○　道路**ア**、**イ**、**ウ**は、それぞれ道路**ケ**に垂直です。

【正答例】
東公園の面積は　３０×８０＝　２４００　より　２４００㎡ である。
西公園の面積は　５０×５０＝　２５００　より　２５００㎡ である。
だから、西公園の方が東公園より面積が広い。

中学校国語　第１学年

場面と情景描写を結び付けて内容が解釈できる。

1　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

小学校の伝統行事の一つに琵琶湖の遠泳大会があった。水泳が得意だった真由美は、上級者クラスに出場し、１０００メートルの遠泳に挑んだ。遠くからでもよく見えるようにと、その日はみんな黄色い水泳キャップをかぶっていた。

出だしは**ア**順調で、ぐいぐい泳げた。プールと違って、生き物のぬるい匂いがした。それでいて冷やっこかった。いつも以上に手脚を動かすと押し返す力を感じた。なにより空と水面が広く、どこまでも泳いでいけそうで楽しかった。スタートしてから、ずっとトップ集団のなかにいたはずだ。それがもうすぐ折り返し地点というところで、流れてきた藻に足をとられリズムを崩した。疲れていたこともあって体を反転させて息をつき、すぐにまた泳ぎだそうとした。けれど、なにかがいつもと違った。うまく一息つくことができなかった。脚が空回りした。急に足が着かない恐怖におそわれた。そこからは一瞬だった。体が強ばり、泳ぐどころではなくなった。水面をでたらめにたたき、水を飲みこんだ。脚を向きも分からずじたばたさせた。水の中なのに涙があふれた。

異変に気づいた**イ**監視員がすぐさま駆けつけてくれたために大事には至らなかった。記憶が混同して不鮮明なところもあるが、はっきり覚えているのは、必死にもがいた先でたたくようにつかんだ①監視員の腕のその柔らかな確かさと、大人に担がれて陸にあがったときにおそってきた自分の肉体の重さだった。気がつくと、真由美は浜辺にあるパラソルの下に横たわっていた。パラソル越しに届く日ざしの暑さと同じように、てのひらに残る感触と体にのしかかる自重が真由美の意識にまとわりついていつまでも離れなかった。②琵琶湖の湖面は変わらず輝いていた。そのなかを子どもたちの黄色い水泳帽が列をなして泳ぎ続けている。そこから外れた真由美だけが、日ざしの下で息をしている重さを感じていた。

（澤西祐典『虹のこ』より）

※　「自重」……自分の体の重さ

（3）＿＿＿＿線②「琵琶湖の湖面は変わらず輝いていた。」という情景描写の効果としてふさわしいものを次から１つ選びなさい。

・真由美がおぼれたことで、周囲の人が不安にかられたことを強調している。

・真由美がおぼれたものの、深刻な事態にはならずに済んだことが暗示される。

・遠泳大会前に琵琶湖の環境整備が行われたことを暗示している。

・この日の琵琶湖がいつも以上に美しかったことが強調される。

【正答】

・　真由美がおぼれたものの、深刻な事態にはならずに済んだことが暗示される。

中学校数学　第１学年

正の数・負の数を使って、条件に合う式に表すことができる。

2　４月２３日から５月１２日まではこどもの読書週間と定められています。

さくらさんの学校では、こどもの読書週間にあわせて、図書委員会の活動として、図書館の本の貸出に力を入れて活動しました。次の**表**は、図書館の開館日と、その日に貸し出した本の冊数と図書委員会が目標にしていた貸出冊数との違いを表しています。

※図書委員会が目標にしていた貸出冊数は、６日間とも同じとします。

表

図書館の開館日	４月２７日（月）	４月２８日（火）	４月３０日（木）	５月１日（金）	５月７日（木）	５月８日（金）
目標との違い（冊）	＋１０	－２５	＋１４	＋３９	－２７	＋１５

５月７日（木）の貸出冊数は１５８冊でした。このとき、４月３０日（木）の貸出冊数を求める式として適切なものを、次の４つの中から１つ選びなさい。

・　１５８＋（－２７）－（＋１４）

・　１５８＋（－２７）＋（＋１４）

・　１５８－（－２７）－（＋１４）

・　１５８－（－２７）＋（＋１４）

【正答】

・　１５８－（－２７）＋（＋１４）

中学校国語　第２学年

文章の構成や展開に即して、自分の考えが伝わる文章を書くことができる。

3　大谷さんは、学級会で話し合った運動会スローガン案を生徒総会で発表するために、発表原稿を書いています。さらに、書いたあとで発表原稿をもとに、クラスメイトと交流をしています。次の**【大谷さんが書いている原稿】**と**【３人の会話】**を読んで、あとの問いに答えなさい。

【大谷さんが書いている原稿】

２年１組から今年の運動会スローガンの提案をします。今年度、私たちが提案するスローガンは「限界突破～共に笑い、共に泣き、共に勝つ～」です。まず、主題である「限界突破」についてです。みなさんは、限界という言葉を聞くといろいろなことを思い浮かべると思います。「これ以上走るのはきついな」「もう声が出ないな」と、諦めそうになる瞬間があるかもしれません。しかし、私たちがめざすのは、その「限界」の先へ行くことです。私たちは、これまでの自分を超えようとする一人ひとりの熱い姿が見たいという思いから、この言葉を選びました。そしてそれを乗り越えるために必要なのが、同じ隊の仲間たちです。そこで私たちは副題に３つの「共に」を入れました。運動会のメインイベントは応援合戦です。この応援合戦を成功させるには声出しやダンスの動きなど、仲間との協力が大切になります。練習がうまくいってうれしいときは「共に笑い」、悔しくて心が折れそうなときは「共に泣き」、どんなときも全員で支え合って①突き進む。きっとその先には、「共に勝つ」という最高の瞬間が待っているはずです。以上で２年１組の提案を終わります。

【３人の会話】

山　本　②「みなさんは、限界という言葉を聞くといろいろなことを思い浮かべると思います。」だと、聞いている人は、自分のこととして思い浮かべることができないと思います。それに「いろいろな」はあいまいな表現です。聞く人に想像してもらうためにも「いろいろな」を省いて問いかけの形にするのはどうでしょうか。

大　谷　そうですね。その方が、聞いている人の一人ひとりが運動会の様子を思い浮かべることができますね。修正してみます。

山　本　あと、副題のところで応援合戦を具体例として出したのは、仲間を意識させる上でも効果的だと思います。

佐々木　③私は「以上で２年１組の提案を終わります。」の前に提案内容をまとめた文があるといいと思います。提案内容に加えて、どのような運動会にしたいかを書くと、この運動会にこめた思いが伝わるのではないでしょうか。

大　谷　確かに、そうした方が１組の提案のまとめの文になりますね。書き加えてみます。

（3）　大谷さんは佐々木さんの③のアドバイスを受けて「以上で２年１組の提案を終わります。」の前に２つの提案内容をまとめた文を加えることにしました。山本さんが提案したスローガンの内容に加えて、どのような運動会にしたいかをまとめた形にして以下の条件に従って、７０字以上８０字以内で書きなさい。

【条件】

- **２文で書くこと。**
- **１文目は、主題と副題についてまとめた文にし、「自分」「仲間」という言葉を入れること。**
  ２文目は、そのスローガンを通してどのような運動会にしたいかを自分で考えて書くこと。

【正答例１】

・　「限界とっ破」を目標に自分の限界の先に到達し、「共に」戦うことで、仲間とのきずなを深めましょう。そして、全員の心に残るすばらしい運動会を作り上げましょう。　(７７字)

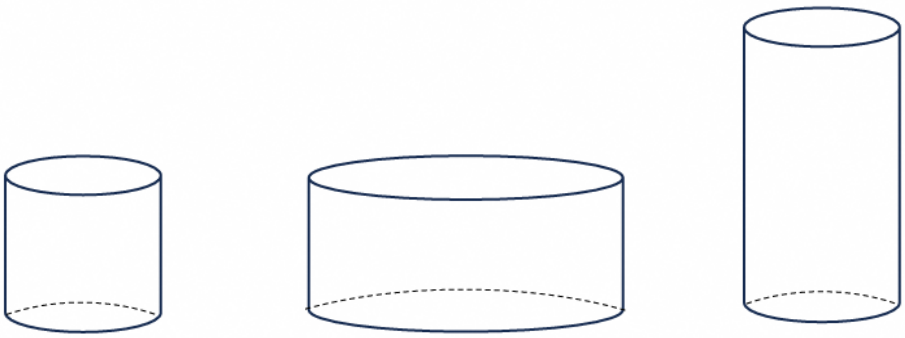
【正答例２】

・　今年の運動会は「限界とっ破」で自分の限界を乗り越え、仲間と「共に」きずなを深めてほしいです。そして、私たちだけでなく、観客の心にも残る運動会を作りましょう。　(７８字)

中学校数学　第２学年

文字式を読み取り、関係を明らかにすることができる。

2　底面が半径 r cm、高さ h cm の**円柱Ａ**があります。また、**円柱Ａ**の半径を２倍にした**円柱Ｂ**と**円柱Ａ**の高さを２倍にした**円柱Ｃ**があります。



円柱Ａ　　円柱Ｂ　　円柱Ｃ

円柱Ｂと**円柱Ｃ**の体積を求めると、以下のようになります。

【円柱Ｂの体積】

$\pi \times 2r \times 2r \times h$

$= 4\pi r^2 h$

【円柱Ｃの体積】

$\pi \times r \times r \times 2h$

$= 2\pi r^2 h$

円柱Ｂと**円柱Ｃ**の体積を比べたとき、適切なものを次の４つの中から１つ選びなさい。

- **円柱Ａ**の半径と高さに関係なく、**円柱Ｂ**の体積は**円柱Ｃ**の体積の２倍である。
- **円柱Ａ**の半径と高さに関係なく、**円柱Ｂ**の体積は**円柱Ｃ**の体積より２cm^3大きい。
- **円柱Ａ**の半径や高さによって、**円柱Ｂ**の体積は**円柱Ｃ**の体積より大きい場合と小さい場合がある。
- **円柱Ａ**の半径と高さに関係なく、**円柱Ｂ**と**円柱Ｃ**の体積は等しい。

【正答】

- 円柱Ａの半径と高さに関係なく、円柱Ｂの体積は円柱Ｃの体積の２倍である。

中学校英語　第２学年

自分の考えを整理し、まとまりのある英語の文章を書くことができる。

7　あなたは、来月帰国する留学生のメグ（Meg）さんのために思い出に残ることをしようと考え、ALT のボブ（Bob）先生と話しています。メグさんについてのメモを参考にして、会話の流れに合うようにあなたの考えとその理由を１５語以上３０語程度で書きなさい。文の数は問いません。

You: Meg will leave Japan next month.
Bob: Yes. I'm sad.
You: We want to do something for her.
Bob: That's good. What will you do for her?
You: [（ここにあなたの考えとその理由を書く）]
Bob: Wow! Meg will be very happy!



※　短縮形（I'm や don't など）は１語と数え、符号（,や?など）は語数に含めません。
（例）No,　I'm　not.　【３語】

【採点基準】
① 英語で１５語以上３０語程度の文章が書けているか。
② メグの好きなものやことに関して、Meg will be very happy!につながるような内容が書かれているか（同じ内容の繰り返しやメグの好きなものやことを並べただけなどの場合は、許容しない）。
③自分の考えとその理由の両方が書かれているか。
※ 文法、語順の誤りは、意味が伝わる程度であれば許容する。
※ 大文字・小文字、符号の誤りは許容する。
※ つづり（単語のスペリング）の誤りは、単語が識別できる程度であれば許容する。

【正答例１】
・ I want to play tennis with her because she likes tennis.
I am good at tennis, so I think we will have a good time.
(25words)

【正答例２】
・ I will cook ramen for her because she likes Japanese food.
We can eat it together. I think she will enjoy my cooking.
(23words)